

# 第5回全国高校生社会イノベーション選手権(イノチャン)

## 問題分析編 課題

今年度は「市民や社会のニーズに応える公共空間の新しい使い方」がテーマです。これまで注目されてこなかった公共空間の余地を課題解決に利用する、官が担ってきた役割を民(企業に限らずNPO/NGOや市民なども含む)が代替することによってイノベーションを起こす、公共空間の限界を新たな考え方によって解決するなど、多様な視点からアイデアを考えていきます。

それにあたって、「問題分析編」では身の回りの公共空間や社会のニーズについて分析したり、公共性の高いサービスの在り方を理解することを通じて、イノベーションを生むアイデアを出すにあたっての土台を築いてほしいと思っています。

(注:「官民連携」などと言われるように、政府・行政と民間は対立する概念というわけではありません。また本大会では、「民/民間」の中には企業だけでなく、NGO・NPOやその他市民による組織などが幅広く含まれると考えてください。)

問題分析編の課題に取り組む際には、新聞記事やWeb上の記事、教科書等の書籍など、どのような資料を調査に用いてもよいものとします。また、実際にインタビュー調査などをして見聞きしたことをまとめる形式でも構いません。ただし、調査に用いた資料については、出典を明記してください。

### 問1

(1)

私たちの身の回りには、様々な公共空間や公共施設が存在します。それらは、自治体や国によって、市民や地域のニーズを満たすために必要な機能が備えられています。そこで、身の回りの公共空間を2つ選び、それらがどのような目的で整備され、どのような機能を有した空間であるのかについて、国や自治体のHPなどを参考にまとめてください。その際、その公共空間を定義したり、その管理・運営について定めている法令についても調べ、その内容も簡単に記してください。以下に参考として公共空間の例を挙げるので、それらから選んでもよいですし、自分で新たに考えても構いません。

[公園 学校 商店街 神社]

(2)

上で選択した公共空間や公共施設について、実際に身の回りで該当する場所に行き調査してください。(1)の結果をもとに、その公共空間の本来の役割や機能が実際に果たされているか、また定められている以外にも果たしている機能があるかについてまとめ、もし何らかの障壁や課題によって妨げられているのであれば、具体的に考察してください。

## 問2

私たちが普段利用している公共施設や公共サービスは、国や自治体がお金を出しているため無料で使えたり、安い価格でサービスを受けることができます。その一例として、「保育」のサービスについて検討してみましょう。

(1)

保育所、幼稚園、認定こども園等の利用料は、どのようなサービスを提供しているのかによって「公定価格」が決められています。どのように決まっているのかについて、150字以内で説明してください。

(2)

幼児教育・保育は義務教育ではありません。実際、保育サービスの多くは民間企業等により提供されています。しかし、たとえば高校生が通う塾などと比較して、これら保育サービスでは、民間企業やNPO等による経営の上で認められている自由度は必ずしも大きくありません。格安の保育サービスを提供するために、極端に少ない人数の保育士でサービスを提供するといったことはできません。それはなぜでしょうか？

(1)で調べたように、提供するサービスなどの内容によって公定価格が決まることが、どのように各施設や提供されるサービスに影響するのかについて考えながら、まとめてください。以下の記事のような情報を参考にしても構いません。

<https://www.hoikuplus.com/post/usefulnurtureinfo/937>

## 問3

(1)

SDGs(エスディーゼズ:Sustainable Development Goals 持続可能な開発目標)とは、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2016年から2030年までの国際目標です。

持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人として取り残さない」ことを誓っています。

教科書やSDGsについて紹介しているWebサイトなどを参考に、17ある目標からグループメンバーが関心のあるものを1つ選んでください。

次に、具体的なターゲットを絞り込みましょう。

SDGsの17の目標には、それぞれいくつかのターゲット(達成目標)が定められています。(ターゲットには「1-1」のように、それぞれの項目の達成目標を定めたものと、「1-a」のように具体的な実現のための方法を定めたものがありますが、)それらのターゲットの背景には、現代社会でそのような課題が解決されていない為に困りごとを抱えている人々がいます。そこで、それらターゲットの中から日本社会において特に解決すべきと考えられるものを一つ選んでください(理由を記述する必要はありません。また、どのテーマ・ターゲットを選んだかは審査に影響しません)。

(2)

(1)で選んだターゲット(課題)の背景にいる、様々な困りごとを抱える人々について理解を深めましょう。そのターゲットは日本国内においてどのようなニーズとして現れているか、具体的に困っている人の人物像を5つ程度挙げ、それぞれのニーズについて調べてまとめてください。

まとめるにあたっては、

・困っている原因は何か(制度、社会背景、社会経済的地位など)

- ・なぜ問題が解決されないのか
- ・現状どのような対策が講じられているのか

を資料等から読み取り、必要に応じて追加で調べるとよいでしょう。ただし、1つ1つの事例について極めて詳細に調べる必要はありません。様々な事例を広く参照することを通じて、そのターゲットが日本社会全体で解決される必要があることが伝わるように心がけてください。困りごとやニーズには、SDGsのターゲットで直接表現された人や集団のみならず、その人や集団をとりまく様々な人・組織も関わっているはずです。ニーズを満たす方法を考えるためには、ニーズに関わる人や要素の全体像を把握することが重要です。

また、これらの情報を整理して伝えるために図や表を使うことも有効です。後日取り組み方の例を公開しますので、まとめる際の参考にしてください。